

ワンストップ 支援

JDC「地域包括ケアの深化・地域共生社会の推進を踏まえた『ハイリスク者支援のための連携支援手引き』普及推進事業」
(厚生労働省 平成29年度 自殺予防対策事業)

参加費無料

を考える地域セミナー

多重的な困難をかかえ、自殺リスクが高まった人々への支援については、地域レベルで、より包括的なワンストップ支援を行うための連携を強化していくことが必要です。そのためには、困難をかかえた人々の支援に関して、各領域で使用されている“ことば”や、実践されている支援アプローチ、連携方法などを、地域の関係者の中で共有することが重要となります。

本セミナーは、地域の関係者が様々な領域の情報を共有し連携しながら包括的な支援が実践できるようになることを目的に、JDC（日本うつ病センター）が作成した連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法を学ぶとともに、「地域に必要とされる包括的なケアシステムとはどのようなものなのか」について、地域での支援活動に携わっておられる関係者とともに考えていくものであります。

講義 ①
連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について

講師／大塚 俊弘
(国立精神・神経医療研究センター
上級専門職)



講義 ②
生活困窮者の地域支援について

講師／奥田 知志
(生活困窮者自立支援全国ネットワーク
代表理事)

講義 ③
自殺未遂者の支援について

講師／山田 素子
(横浜市立大学附属市民総合医療センター
医療ソーシャルワーカー)

グループ討議

「鹿児島でのワンストップ支援を考える」

ファシリテーター／大塚 俊弘

助言者／奥田 知志 山田 素子

平成30年 2月7日 (水)
10:00 ~ 16:00

鹿児島県精神保健福祉センター
鹿児島市小野1-1-1 ハートピアかごしま 2階

■ お問い合わせ：
鹿児島県精神保健福祉センター
久木野 ☎ 099-218-4755

共 催： 一般社団法人 日本うつ病センター (JDC) /
鹿児島県精神保健福祉センター / 鹿児島県保健福祉部社会福祉課

ワンストップ支援を考える地域セミナー

- 1 日 時： 平成30年2月7日（水）10：00～16：00
- 2 会 場： 鹿児島県精神保健福祉センター 大会議室
(鹿児島市小野一丁目1番1号 ハートピアかごしま 2階)
- 3 対 象： 市町村、保健所、県地域振興局及び支庁、生活困窮者自立相談支援機関等の関係者等
- 4 共 催： 一般社団法人 日本うつ病センター（JDC）、
鹿児島県精神保健福祉センター、鹿児島県保健福祉部社会福祉課
- 5 内 容：
 - (1) あいさつ 10:00～10:05
 - (2) 講義 ① 10:05～11:05
『ワンストップ支援における留意点』の活用方法について
講 師：大塚 俊弘（国立精神・神経医療研究センター 上級専門職）
 - (3) 講義 ② 11:05～12:15
生活困窮者の地域支援について
講 師：奥田 知志（生活困窮者自立支援全国ネットワーク 代表理事、
特定非営利活動法人 抱樸 理事長）
 - (4) 講義 ③ 13:15～14:25
自殺未遂者の支援について
講 師：山田 素朋子（横浜市立大学附属市民総合医療センター
地域連携推進部 医療ソーシャルワーカー）
 - (5) グループ討議 「鹿児島でのワンストップ支援を考える」 14:35～15:50
ファシリテーター： 大塚 俊弘
助 言 者： 奥田 知志、 山田 素朋子

◆ JDC

(一般社団法人 日本うつ病センター)

1978年、全国の大学精神科教授を中心に、任意団体『うつ病の予防と治療のための委員会(JCPTD)』として発足。うつ病および関連疾患に関心を抱く医師・コメディカルスタッフへの情報提供、うつ病やその他の心理的障害に悩む一般市民の方々に適切なアドバイス・支援の方法を伝える啓発活動を中心に事業を展開し、2010年に一般社団法人となる。現在は、啓発活動の他、六番町メンタルクリニックにおいて診療を行うとともに、職場のメンタルヘルス・サポート事業にも取り組んでいる。

2016年より、厚生労働省の自殺予防対策事業の採択を受け、「ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり」に着手。自殺ハイリスク者への支援に関与する多様な領域の相互協力により、有効な支援の構築に貢献していくことを目的に、連携支援のための手引き『ワンストップ支援における留意点』を作成。

連携支援のための手引き

『ワンストップ支援における留意点 - 複雑・困難な背景を有する人々を支援するための手引き - 』

特徴的な部分は、第2章「課題別支援のポイント」と第3章「関係機関との連携のポイント」で、各課題について、基本的な知識や情報、専門機関との連携上の留意点を簡潔に記載してある。

課題別に、その問題を抱えた人々の支援に関わる可能性がある者なら誰でも知っておくべき9～10のポイントを挙げ、簡単な解説を加えてある。

記載されている主な課題は、「生活困窮」、「依存症」、「多重債務」、「DV被害」、「幼少期の逆境体験」、「自殺未遂」、「自死遺族支援」など。

JDCのホームページからダウンロードも可能。
<https://www.jcptd.jp/suicide.html>